61 01 10 01 03 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月31日（月）

事務事業	特別支援教育事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	6129
第2次総合計画 行政分野別施策		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令個別計画等	学校教育法、学校教育法施行令、学校教育法施行規則				
中項目	200001 共に学び、成長が実感できるまちづくり						
小項目	200001 「生きる力」を育む学校教育の推進						

事業概要	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進に向けて、早期支援のシステム作り、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた就学支援・相談・指導・支援の充実、特別支援補助員の活用、他機関との連携、支援籍学習の推進、教育研究所の機能の充実等に取り組む。
目的 ※何のために	発達障害の理解啓発については、早期発見・早期支援が必要なため、就学相談や巡回相談を行う。
対象 ※誰・何を対象に	市内市立小中学校の全児童生徒
手段 ※どのように	巡回相談を通じて、児童生徒の指導について、教職員に助言を行う。
成果 ※何を求めるか	児童生徒への充実した教育
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育研究所費	特別支援教育事業	48,007,923
一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育研究所費	ふっかちゃんi（愛）サポート事業	0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- 巡回相談の実施
- 就学支援委員会開催
- 特別支援補助員、スクールライフサポーターの配置
- ＩＣＴ支援員の配置
- 通級指導教室・特別支援学校タブレット端末等の整備
-

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			就学支援委員会開催　巡回相談の実施　特別支援補助員、スクールライフサポーターの配置	就学支援委員会開催　巡回相談の実施　特別支援補助員、スクールライフサポーターの配置	就学支援委員会開催　巡回相談の実施　特別支援補助員、スクールライフサポーターの配置	就学支援委員会開催　巡回相談の実施　特別支援補助員、スクールライフサポーターの配置	就学支援委員会開催　巡回相談の実施　特別支援補助員、スクールライフサポーターの配置	就学支援委員会開催　巡回相談の実施　特別支援補助員、スクールライフサポーターの配置
事業費	予算（現額）		38,111,000	40,731,000	41,918,000	55,587,000	53,215,000	50,190,000
	決算額		36,130,956	37,632,498	40,641,693	48,007,923	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	2,271,577	0	0
		県支出金	0	0	0	4,543,155	0	881,000
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	674,144	2,071,668	2,071,668	0	0	0
		一般財源	35,456,812	35,560,830	38,570,025	41,193,191	53,215,000	49,309,000
人件費	従事職員数（人）		0.73	0.73	0.68	0.89	0.68	0.68
	人件費相当試算 ※1		5,678,670	5,680,860	5,345,480	7,241,040	5,532,480	5,532,480
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			41,809,626	43,313,358	45,987,173	55,248,963	58,747,480	55,722,480

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	特別支援学級在籍児童生徒数	目標値	人							■
			実績値		207.00	212.00	223.00	263.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値は設定しない							
		児童生徒数実数									
□	活動指標２	特別支援補助員の配置人数	目標値	人							■
			実績値		25.00	25.00	27.00	29.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		支援が必要な学校の実情を勘案し配当するため目標値を設定しない。							
		配置人数									
□	活動指標３	生徒指導支援員の配置人数（スクールライフサポーター）	目標値	人							■
			実績値		10.00	10.00	11.00	11.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		支援が必要な学校の実状を勘案し配置するため目標値を設定しない。							
		配置人数									
■	成果指標１	小中学校巡回相談の実施回数	目標値	回	58.00	58.00	58.00	58.00	58.00	58.00	□
			実績値		48.00	54.00	54.00	74.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		小中学校２９校×２回の計５８回を目標値に設定する							
		実施回数									
■	成果指標２	要請巡回相談の対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		対応率は１００％を目標値と設定する							
		巡回数／要請回数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 特別支援補助員は昨年度より増員して配置し、スクールライフサポーターは各学校実情に応じて配置することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 巡回相談は要請があったものについては、すべて訪問することができた。 各校への定期巡回相談については、各校ともに１回以上訪問することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	課長補佐兼指導主事　山口　さやか

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	特別支援教育事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	6129

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

学校福祉相談員や専門員等が巡回相談を計画的に実施し、発達障害等の児童生徒の教育的ニーズに合わせた支援方法を提示することにより、教員の指導力の向上、教育相談の充実に役立っている。また、小中学校巡回相談を実施することにより、連続した支援ができ、個別の支援の充実が図られるような体制をとることができている。

評価者	学校教育課長　嘉藤　央

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

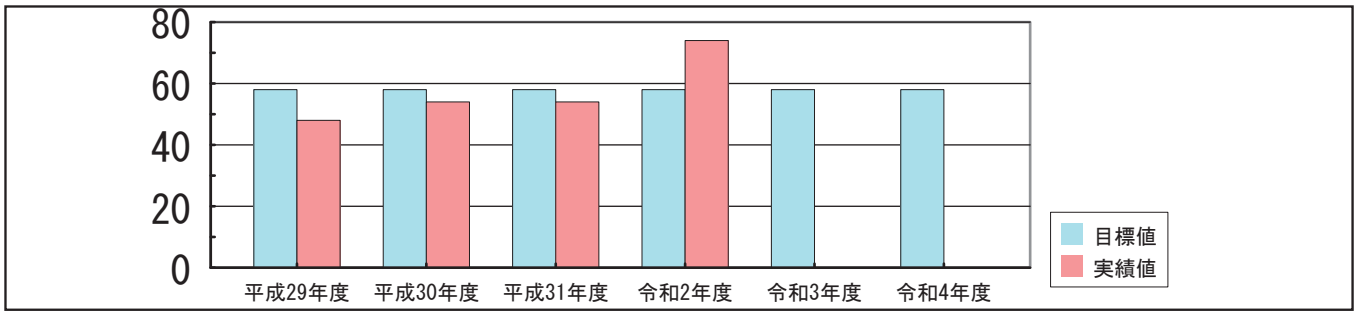
改善・改革案	

8．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

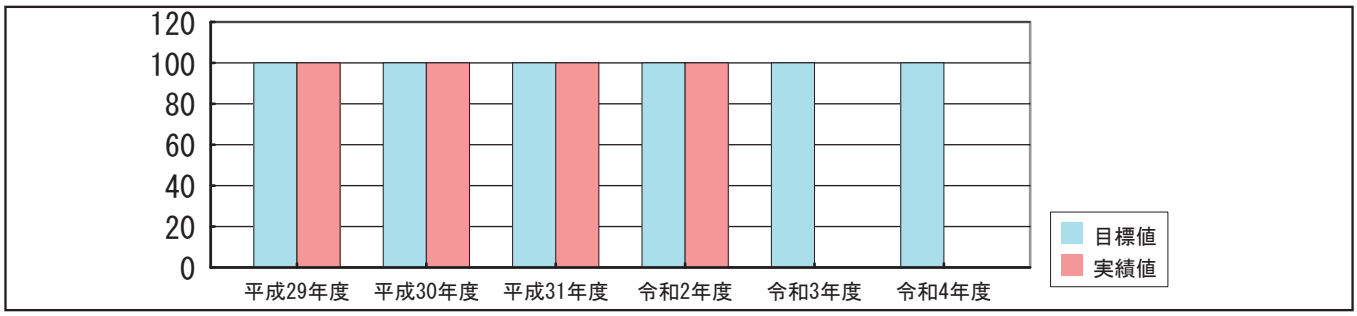
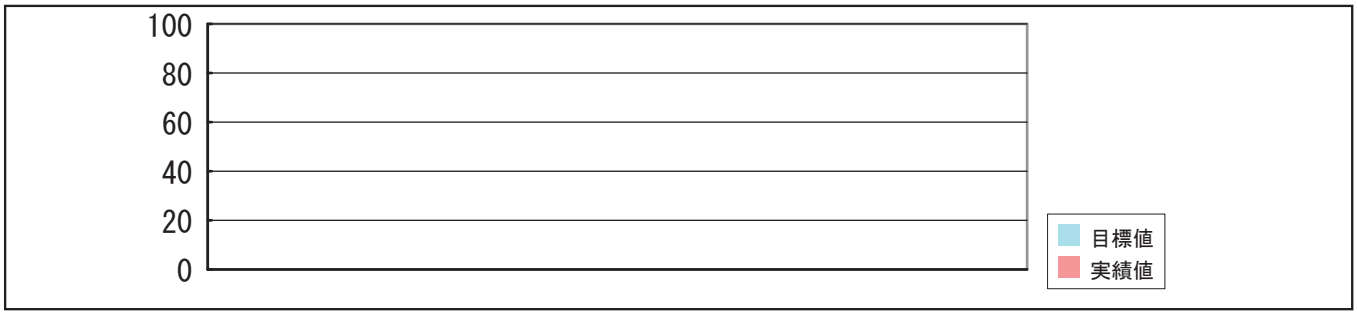
今後の課題	

9．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	小中学校巡回相談の実施回数



区分	成果指標２	指標名	要請巡回相談の対応率



区分		指標名